



令和2年度 川崎保育園
文責：水落

主 題：社会や自然の恵みに感謝しよう（報恩感謝）
生活目標：番組は 選んでみよう 姿勢よく

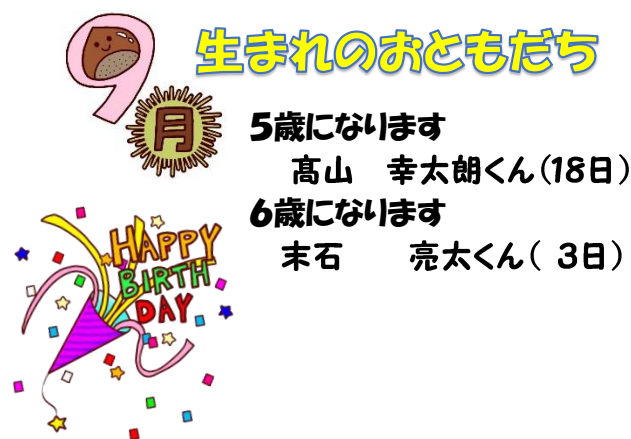
立秋も過ぎ、朝晩は少しずつ秋の気配が感じられるようになってきました。騒々しいほどだったアブラゼミやクマゼミたちの大合唱から、ツクツクホウシや草むらの虫の声に変ってきています。まだまだ日中は「危険な暑さ」が続いていますが、少しずつ少しずつ夏の終わりが感じられるようになってきましたね。

思い起こすと、例年にない夏となりました。長引く梅雨に始まり、毎年のような「経験したことのない」豪雨、オリンピックの延期、そしてはやあたりまえとなったマスクなど... さあ、つぎはどんな秋になっていくのでしょうか。「実りの」「読書の」「スポーツの」「食欲の」などなど、さまざまな活動に最適な季節です。まだまだ新型コロナウイルス感染症も油断はできませんが、充実した秋にしていきたいと考えています。

さて、先日「夏まつり」を実施いたしました。朝方はあいにくの空模様でしたが、次第に雨も上がり、晴れ間ものぞくようになりました。子どもたちの熱い思いがお日さまにも届いたようです！新型コロナウイルス感染症対策で、園児、職員のみでの開催とさせていただきましたが、子どもたちも、とっても楽しそうに各屋台をまわっていました。来年は是非おうちの方や、卒園生のみなさんと楽しい時間を過ごしたいものです！！

9月の行事予定

1日（火） 安全の日
15日（火） 安全の日
18日（金） 避難訓練
18日（火） 避難訓練
24日（木） 運動会予行
25日（金） 誕生会



5歳になります
高山 幸太朗くん(18日)
6歳になります
末石 亮太くん(3日)



本園の保育のねらい

スポーツの秋もうすぐ！本園で行っている、体育ローテーションの3つの魅力について書かせていただきます。

・自然な流れの中の運動であること

体育ローテーションでは、さまざまな運動器具を組み合わせ、それを連続して経験することで、まるで自然環境の中にいるようなダイナミックなあそびを作り出しています。特定のスポーツになると活動は単調になりがちですが、本来の自然に近い、山あり谷ありといった環境を設定して、小さな身体に備わった運動の諸機能をフル活用できるよう工夫されています。



・仲間と取り組む集団遊びであること

どの子にも備わる運動本能を刺激して、体験を促すはたらきかけの主体が、同じリズム、動きを共にする仲間たちです。互いに動きを学び、「まねびあう」仲間です。みんなと身体を動かすことが楽しい、がんばることが楽しい、共振する、共感するという「よろこび」が、集団活動としての体育ローテーションの魅力といえます。



・身体の機能を使いつくす「快」にあふれていること

「からだを動かしたい」「もっと友だちと仲良くしたい」など発達の欲求に充ちたエネルギーが、体の中に飽和した状態にあるのが、本来の子どもの姿だといえます。それを朝一番の体育ローテーションで「ああ、楽しかった」とやりきる。自らの内部にある年齢相応な機能を使いつくすことで、子どもはよろこび＝快に満たされます。

（『総幼研ブックレット 動きと身体』秋田光彦著より）

☆10月の主な行事予定

10月 1日（火） 十五夜
10月10日（土） 親子運動会
10月30日（金） さくら組遠足

※上記の詳細につきましては後日お知らせいたします。



新しいお友だちです！

